

## マイクロファイナンスコース - コラム ①

### 「顔の見える金融」を継続する工夫！？

伝統的なグループローンではセンターごとに定期的に返済ミーティングで分割の返済金を集めます。このミーティングへの出席率は返済能力の指標でもあり、モニタリングのツールでもあります。出席率が低い顧客のビジネスを優先的に視察するなど、返済を阻む問題に早めに対処する事ができます

一方で、ローンの返済の為にグループメンバーと一緒に定期的に集まるのは顧客にとっても時間や交通費などコストを意味し必ずしも容易なことではありません。その為、近年では個人での返済、グループ代表が他メンバーのお金を纏めて持ち込む、モバイルマネーで送金するなどの方法に移行する機関も増えています。そのなかでバングラデシュの TMSS は返済ミーティングで集まる機会を活用して、教育と医療サービスを提供してミーティング参加の付加価値を高めています。

TMSS の HEM (Health, Education, Microfinance) プログラムでは小規模融資を受けている顧客が隔週でミーティングに参加して融資を分割で返済します。ただ、ミーティングの際には識字教育や基礎計算などの教育と基本的な医療サービスが無料で受けられます。TMSS はマイクロファイナンスに教育と医療を組み合わせる事により顧客の生活をより包括的に改善するために HEM プログラムを継続しています。同時に、ミーティングの参加率向上と顧客の健康や能力強化は返済率の向上にも貢献しており、TMSS の事業継続性も高める働きがあります。TMSS は 690 支部で 80 万戸以上の貧困家庭に HEM プログラムを提供しています。(詳しくは TMSS のウェブサイトよりご覧ください。 [http://www.tmss-bd.org/?page\\_id=1348](http://www.tmss-bd.org/?page_id=1348)) アライアンス・フォーラム財団が9月に開催するバングラデシュインターンコースではこの HEM プログラムの実務経験を通して、仕組みを知ることができます。

コースの詳細はこちらからご覧ください。

<http://www.allianceforum.org/mfbd2015>